

No.77
2018
11/6



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八地申第8号 懲罰的な乗務停止・日勤教育を直ちに中止し 責任追及ではなく原因究明が出来る職場風土を確立する緊急申し入れ

懲罰主義では安全は守られない!!!

9月25日武蔵小金井駅で発生した事象に対して、立川車掌区では「必要な教育」と称して乗務停止処分を行い、常軌を逸した日勤教育が行われました。また、10月24日東中神駅にて白杖を挟んだまま走行した事象では当該組合員が正しく報告したにも関わらず、防犯カメラの映像を用いた責任追及とも取れる事情聴取が行われ、乗務を外し変形日勤が指定されています。

福知山線列車脱線事故調査報告では「ペナルティと受け取られている日勤教育についても、このような実践的な運転技術に関する教育を充実させるなど、精神論的な教育に偏らず、再教育にふさわしい事故防止に効果的なものとするべきである。」とされており、立川車掌区ではこれに逆行した職場風土が形成されようとしています。このままの状態が続けば安全を脅かす事象につながることは明らかです。責任追及から原因究明を再確立させ、安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場風土を取り戻すために、下記の通り申し入れを行ないました。

1. 当該組合員が乗務を外された経緯と根拠を明らかにすること。
2. 多くの組合員が日勤教育に対して不安を感じている事から、根本的な原因を究明し、全職場に周知すること。
3. 懲罰的な日勤教育は、福知山線列車脱線事故の教訓から今後一切行わないこと。
4. 事情聴取の際に防犯カメラの映像を用いて責任追及を行わないこと。
5. 日勤教育を行っている組合員を直ちに乗務復帰させること。

**懲罰が嘘と隠蔽の温床になる事は歴史が証明している！
何でも言える職場風土は安全輸送を創り出す要
会社の懲罰主義を許さず、安全な鉄道を創り出すぞ!!**

